議員活動自己検証シート（公約の取組）　令和7年度

会派名	真正会
期数　（議員歴）	4期　（14年）

議員名	検証項目（10項目）	所属委員会　等	
鈴木深由希	【検証値の捉え方】 1年間の議員活動・取組内容について・・・・・ ➡「ほぼ満足している」＝ ”A” 1.0 ➡「さらに努力する余地があると思う」＝ ”B” 0.5 ➡「思ったような取組ができていない」＝ ”C” 0		産業建設常任委員会　委員長 予算決算常任委員会 広島県水道広域連合企業団議会

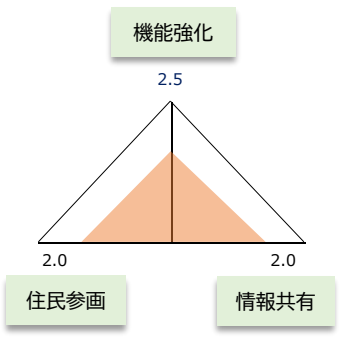
公約を検証する背景（根拠）	**議会基本条例前文「市民の代表として選ばれている議員は，市民の負託にこたえる責務を負っている」／21条「この条例の目的及び趣旨の達成状況について検証を行う」**
検証の対象／分野	**議会基本条例第４条　議員活動の原則／議会活動の活発化「住民参画」「情報共有」「機能強化」分野の取組について**（早稲田大学マニュフェスト研究所文献引用）
検証方法	**「公約」について，成果如何に捉われず，その実現に繋がる年間の議員活動・取組内容を自己検証する**（本シートに記載する公約内容は自由選択：重複可）

議会基本条例第４条（議員活動の原則）

❶　【情報共有】【住民参画】選挙によって選ばれた市民の代表であることを自覚し，市政の課題全般について市民の思いを的確に把握し，市民全体の福祉の向上をめざすこと。
❷　【機能強化】議会が言論の場であること，及び合議制機関であることを認識し，議員相互間の自由な討議を重んじること。
❸　【機能強化】日常の調査及び研修活動を通じて自らの資質の向上に努めること。
❹　【機能強化】地方自治の本旨にのっとり，政策，条例，意見書等の議案を提出する努力をすること。
❺　【機能強化】【情報共有】市政の課題に関する論点を市民に明らかにするため，一般質問を一問一答方式により行うこと。

（公約1）福祉・市民の幸せ希望あるまちづくり

障害のある人、お年寄りが明るく生き生きと暮らすまち、どこへも行ける地域公共交通網の確立

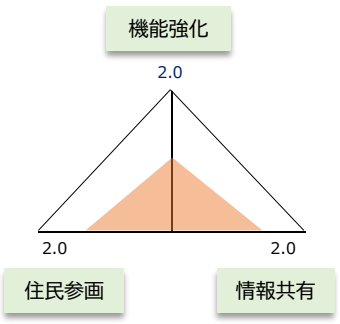


		検証	1年間の主な活動・取組内容，または，取り組めなかった事項と理由　等 注）検証に繋がる活動等，成果等（事業の見直し等）を記入すること。
住民参画 3point	(1)　住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）	A	精神障害者の就労について当事者との意見交換。公共交通が無い地域の高齢者と意見交換。視覚障害者の要望聴取。三次警察署に音声信号機設置要望書を提出の助言・支援をして信号機設置の回答を得る。地域認知症カフェの日程と議会、委員会等の日程が重なり参加が数回のみ。住民自治組織理事会の傍聴がほとんどできなかった。地元の実情を把握する、現場の声を聞くことが基本と考える、次年度は強化する。
	(2)　地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	B	
	(3)　住民自治組織活動や地域活動など，まちづくりへの参加・実践	B	
情報共有 3point	(4)　現場調査・現状確認，聞取り，先進事例等の調査研究活動	A	障害者雇用作業所、事業所を視察。法の下に一定の支援が実行されている筈であるが当事者の言葉通り理不尽な現実があった。特に精神障害者の働く意欲を尊重、理解されていない。その中で利用者の障害に沿った仕事を受注し働く場を提供している作業所の理事長の姿勢に救われた。民間が始めた成人の障害者の居場所デイサービス施設の勉強会に参加。補助金無しでボランティアに頼る運営。持続可能にする手立てを模索、行政の支援が必要。自身の活動報告チラシの配布はできなかった。
	(5)　住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	A	
	(6)　地域等における報告会の開催やSNS，チラシ・広報誌等による情報発信	C	
機能強化 4point	(7)　一般質問等による政策や事業改善の提案	A	市内の障害者団体を集結し条例制定についての意見交換会を持ち、定例会に請願書提出の助言と支援をした。請願書提出準備において議員有志にも意見を求め支援に繋げた。高齢者向けGPS端末無料貸与について検証・促進を進言。三次地域公共交通計画が今年度最終年度を迎える。次期計画作成の取組について市内全域で総合的な運行に着手するべくAIによる運行計画策定を提案。AIオンデマンドバス「のるーと三次」導入の啓発不足改善を具体策を提案。自治体向け課題研修WEB受講。
	(8)　議員間討論への積極的な参加，会派内での情報共有の徹底	A	
	(9)　各種計画書の分析，条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	B	
	(10)　スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	C	

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	値合計
1.0	0.5	0.5	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.5	0.0	6.5

（公約2）地産推進、活力ある郷土を守る

・農業の担い手育成・技術の継承促進！　・産業の活性化

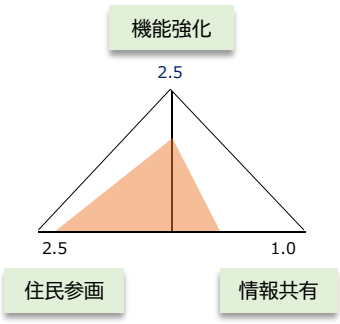


		検証	1年間の主な活動・取組内容，または，取り組めなかった事項と理由　等
住民参画	(1)　住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）	A	昨年に続き、産業建設常任委員会閉会中継続審査でJAひろしま青壮年連盟三次地区本部との意見交換会実施。農家の実情、担い手不足等の課題を聴取。その後、個人的に農家と意見交換。鳥獣被害は勿論、草刈り、天候不順、水不足対策、農家の苦労と工夫を聴く。商工会議所、三次広域商工会との意見交換会では中小企業、個人商店の苦労、後継者問題を聴く。地元調達を心がけ経済活動を守っていくことが重要と学ぶ。
	(2)　地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	A	
	(3)　住民自治組織活動や地域活動など，まちづくりへの参加・実践	C	
情報共有	(4)　現場調査・現状確認，聞取り，先進事例等の調査研究活動	A	農商工連携事業に取組む合志市で農産物のブランド化は大変興味深く、農家独自での商品開発の取組は参考になった。中小企業振興条例・振興ビジョンを民間レベルで施行した田川市は若者が実行部隊として参加し発信の一役をかっていた。先進地視察で中山間地域の農業を守っていくには、農産学金官の協働が必要であると学んだ。市が主導的立場で農家を守らなくては三次市の基幹産業は廃れていく。
	(5)　住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	A	
	(6)　地域等における報告会の開催やSNS，チラシ・広報誌等による情報発信	C	
機能強化	(7)　一般質問等による政策や事業改善の提案	A	産業建設常任委員会での調査・研究は充実していた。意見書の提出については事務局の計らいで担当部局の協力を得ることができ連携の田尾切さを実感した。　農業に関する中山間地域に沿っていない、変更が多すぎ、混乱を招いて農家泣かせであることは農林水産省のお役人も、大臣も認めている。地方議会、中山間地域の議員が今こそ大きく声を上げていかなければならない。そのためにも、視野を広げるための研修会、勉強会へ積極的に参加する。
	(8)　議員間討論への積極的な参加，会派内での情報共有の徹底	B	
	(9)　各種計画書の分析，条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	B	
	(10)　スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	C	

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	値合計
1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0	0.5	0.5	0.0	6.0

（公約3）防災・減災、命を守る市民総動員の危機管理

・『共助』みんなで助かるしくみづくり！　・公平に正確な情報伝達を迅速に！



		検証	1年間の主な活動・取組内容，または，取り組めなかった事項と理由　等
住民参画	(1)　住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）	A	自治会の集会で意見聴取、課題を行政へ問い合せ、防災計画について助言。住民自治組織から自主防災活動について助言を求められ、活動提案書と資料提出する。規約改正の助言を求められ答える。住民の命を守ることに直結した、住民主体の避難訓練等の具体案を提案する。
	(2)　地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	A	
	(3)　住民自治組織活動や地域活動など，まちづくりへの参加・実践	B	
情報共有	(4)　現場調査・現状確認，聞取り，先進事例等の調査研究活動	B	危険箇所等、市民からの通報箇所を調査、担当部署へつなぐ。自主防災組織へも避難時の注意喚起を伝える。住民より避難訓練等の実施内容に疑問視する意見が届く。住民自治組織の役割について質問し検討を提案する。個人的な情報発信はしていないが防災士会等での防災情報発信。
	(5)　住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	B	
	(6)　地域等における報告会の開催やSNS，チラシ・広報誌等による情報発信	C	
機能強化	(7)　一般質問等による政策や事業改善の提案	A	先進自治体で導入の成果を元に難聴者向けの音声ハザードマップの導入を提案。防災について特に高齢者の避難行動の支援、難聴者への避難情報のアクセシビリティの徹底について、住民全体で促進、知識の共有を提言。防災士スキルアップ研修参加。
	(8)　議員間討論への積極的な参加，会派内での情報共有の徹底	B	
	(9)　各種計画書の分析，条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	A	
	(10)　スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	C	

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	値合計
1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.0	1.0	0.5	1.0	0.0	6.0

公約に係る年間の議員活動・取組状況の検証と次年度の目標設定や課題の週出

福祉・市民の幸せ希望あるまちづくり

障害のある人、お年寄りが明るく生き生きと暮らすまち、どこへも行ける地域公共交通網の確立

6.5

地産推進、活力ある郷土を守る

・農業の担い手育成・技術の継承促進！　・産業の活性化

6.0

防災・減災、命を守る市民総動員の危機管理

・『共助』みんなで助かるしくみづくり！　・公平に正確な情報伝達を迅速に！

6.0

活動の一コマ

2025年
12月23日（祝）
広島県条例制定
記念『障害者
コミュケーション
フェス』参加

※昨年度に課題として掲げたことに対する取組や次期の活動目標など

各障害者団体との連携を実行できて、共に意見交換を重ねてそれぞれの障害で異なる困りごと、課題を集約することができた。条例制定を求める請願書をまとめて議会へ提出。採決された。次年度は具体的に意見交換を求めて具体的に条例制定の必要性を訴えていくことを目標としている。各障害者団体相互の理解が深まるよう橋渡しをしていく。

農地を守る、食を守る、誰かがやらなくてはならない、皆でやっていきたい。志を持っている若者が結構いることが農壮年連合会との交流で知った。行政と農業者がしっかりタッグを組んで将来に向けて取組んで行くこと。国の補助金の有効活用を行政から提案してもらい農業者の意欲が向上することが理想。国の施策に問題有りなので、国への提言もしていく。

自治連へ住民主体の防災訓練を提案しているが実施されない。防災士会として地域を細かく分けて住民への伝達を行いたいと考えているが活動の計画に含まれない。住民の命を守るために必要と訴えて実行に移す。

活動報告を集会、チラシ配布など、方法を工夫して実行する。

無断複製・転用はご遠慮ください。

三次市議会　議会運営委員会